

石橋 甲子園 初勝利

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社 2024

読者室 028-625-1179
(受付 月～金・午前10時～午後6時)
編集 028-625-1121
販売 028-625-1120
ビジネス 028-625-1133
事業 028-625-1134

PC・スマホでも
下野新聞 検索

下野新聞社ホームページ
<https://www.shimotsuke.co.jp/>

電子
号外

地方発！
とちぎを
元気にする
動画サイト

♡OveAte

体験
観光

動物

動画
投稿
募集中

QRコード

いつでも
どこでも
下野新聞

下野新聞
電子版

併読プラン
新聞購読料+月額0円
単独プラン
3564円

併読プラン
新聞購読料+月額0円
単独プラン
3564円

お問い合わせ
下野新聞社販売事業局企画管理部
Tel:028-625-1120
(平日午前9時30分～午後5時)

完封で甲子園初勝利を挙げ、笑顔で応援席に駆け出す石橋ナイン＝13日午後1時15分、甲子園球場



入江 11奪三振完封

石	橋	0	0	0	4	0	0	1	0	0	5
聖和学園		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第106回全国高校野球

第106回全国高校野球選手権大会第7日は13日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で2回戦4試合が行われ、本県代表の石橋(初出場)は第2試合で聖和学園(宮城、初出場)に5-0で快勝し、春夏を通じて甲子園初勝利を挙げた。県勢の3回戦進出は昨年の文星芸大付に続き3年連続。県立校の勝利は2002年の小山西以来22年ぶり。

石橋は四回、入江祥太(いりえしょうた)の左前打などで1死満塁の好機をつくり、伊澤颯盛(いざわりゆうせい)の右前適時打で2点を先制。さらに若月優人(わかつきゆうと)も右前適時打で続くなど一挙4点を奪って主導権を握った。七回も1死満塁と攻め立て、敵失からダメ押しの1点を追加した。打線は単打のみで9安打。二回以降は毎回出塁し、積極的な走塁で聖和学園を揺さぶった。

先発投手の入江は毎回の11奪三振で135球完封。140キロ台の直球にスライダー、カーブなどの変化球を織り交ぜて強打の相手打線に的を絞らせず、散発の4安打に抑えた。野手陣も好守でもり立てた。

石橋の3回戦は大会第10日の16日、第3試合(午後1時10分開始予定)で青森山田(7年ぶり12回目)と対戦する。